

大阪府工業指数2026年5月【速報】

毎月の生産・出荷・在庫の推移

1 概況

(1) 生産指数…94.1 前月比7.3% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、石油・石炭製品工業、生産用機械工業など9業種が上昇し、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業など5業種が低下した。

品目別にみると、ガソリン、医薬品等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、3.0%と6か月連続の上昇となった。

(2) 出荷指数…94.7 前月比6.0% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、石油・石炭製品工業、金属製品工業など10業種が上昇し、電気・情報通信機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業など4業種が低下した。

品目別にみると、橋りょう、プロジェクト等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、▲0.2%と5か月ぶりの低下となった。

(3) 在庫指数…95.9 前月比▲2.3% 4か月連続の低下(季節調整済指数)

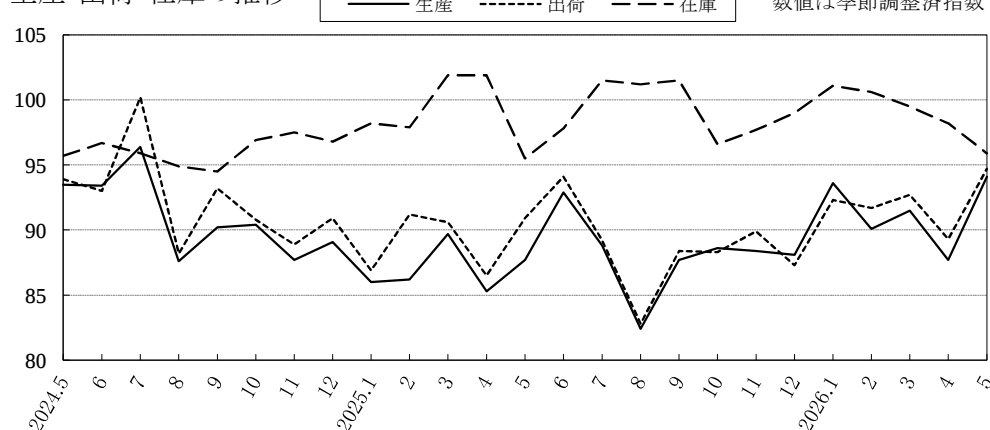
業種別にみると、生産用機械工業、化学工業など8業種が低下し、石油・石炭製品工業、電気・情報通信機械工業など5業種が上昇した。

品目別にみると、装輪式トラクタ、ショベル系掘削機械等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、0.4%と3か月ぶりの上昇となった。

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
		前 月 比 (%)		前年同月比(%)	
生 産	2026 年 4 月	87.7	▲4.2	89.1	2.8
	2026 年 5 月	94.1	7.3	85.0	3.0
出 荷	2026 年 4 月	89.3	▲3.7	90.7	3.3
	2026 年 5 月	94.7	6.0	84.2	▲0.2
在 庫	2026 年 4 月	98.2	▲1.3	96.8	▲3.7
	2026 年 5 月	95.9	▲2.3	98.8	0.4

生産・出荷・在庫の推移



2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産 前月比 7.3% 上昇 9 業種
低下 5 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	2.499	51.2	ガソリン、軽油
	生産用機械工業	1.717	13.7	ショベル系掘削機械、化学機械
	化学工業	1.638	10.9	医薬品、合成洗剤
	金属製品工業	1.114	13.1	橋りょう、鉄塔
	電気・情報通信機械工業	0.669	7.7	プロジェクタ、セパレート形エアコン(室外)
	汎用・業務用機械工業	0.491	5.8	試験機、汎用内燃機関
	輸送機械工業	0.376	6.5	鉄道車両部品、 自動車用機関部品(除. ガスケット)
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.014	0.1	普通鋼H形鋼、鍛鋼品
	窯業・土石製品工業	0.013	1.1	ファインセラミックス(構造材)、耐火れんが
	その他の上昇した品目			精製・混合原料油【石油・石炭製品工業】、 プレス用金型【生産用機械工業】
低下	プラスチック製品工業	▲ 0.164	▲ 4.5	プラスチック製フィルム・シート、 プラスチック製機械器具部品
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.101	▲ 5.5	段ボール原紙
	食料品工業	▲ 0.072	▲ 0.7	チョコレート、砂糖
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.047	▲ 10.1	電子回路基板
	その他工業	▲ 0.037	▲ 0.6	金属製家具、繊維板・パーティクルボード
	その他の低下した品目			鉄道車両【輸送機械工業】、 リチウムイオン蓄電池【電気・情報通信機械工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	ガソリン	石油・石炭製品工業
	2	医薬品	化学工業
	3	橋りょう	金属製品工業
	4	軽油	石油・石炭製品工業
	5	ショベル系掘削機械	生産用機械工業
	6	化学機械	生産用機械工業
	7	プロジェクタ	電気・情報通信機械工業
	8	鉄道車両部品	輸送機械工業
	9	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	10	試験機	汎用・業務用機械工業
低下	1	鉄道車両	輸送機械工業
	2	リチウムイオン蓄電池	電気・情報通信機械工業
	3	超硬工具	生産用機械工業
	4	歯車	汎用・業務用機械工業
	5	プラスチック製フィルム・シート	プラスチック製品工業
	6	フラットパネル・ディスプレイ製造装置	生産用機械工業
	7	チョコレート	食料品工業
	8	装輪式トラクタ	生産用機械工業
	9	鋼半製品	鉄鋼・非鉄金属工業
	10	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業

(2)出荷 前月比 6.0% 上昇 10 業種
低下 4 業種
横ばい 0 業種 計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	1.487	19.0	軽油、ガソリン
	金属製品工業	1.113	12.3	橋りょう、鉄塔
	化学工業	1.027	8.2	医薬品、フェノール
	生産用機械工業	0.977	9.6	ショベル系掘削機械、化学機械
	汎用・業務用機械工業	0.740	9.0	汎用内燃機関、チリングユニット
	輸送機械工業	0.573	8.7	鉄道車両部品、 自動車用機関部品(除. ガスケット)
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.276	2.0	特殊鋼磨棒鋼・線類、普通鋼H形鋼
	食料品工業	0.155	1.5	ビール・発泡酒、チョコレート
	プラスチック製品工業	0.051	1.1	プラスチック製容器(中空成形)、 プラスチック製日用品・雑貨
	窯業・土石製品工業	0.040	4.2	ファインセラミックス(構造材)、研削砥石
	その他の上昇した品目			プロジェクト【電気・情報通信機械工業】、 精製・混合原料油【石油・石炭製品工業】
低下	電気・情報通信機械工業	▲ 0.429	▲ 5.4	リチウムイオン蓄電池、 セパレート形エアコン(室外)
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.074	▲ 4.4	段ボール原紙
	その他工業	▲ 0.066	▲ 1.1	マーキングペン、医療・衛生用ゴム製品
	電子部品・デバイス工業	▲ 0.020	▲ 4.1	電子回路基板
	その他の低下した品目			超硬工具【生産用機械工業】、 鉄道車両【輸送機械工業】

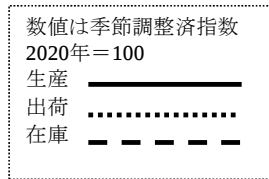
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

(3)在庫 前月比 ▲ 2.3% 上昇 5 業種
低下 8 業種
横ばい 0 業種 計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	石油・石炭製品工業	0.578	16.2	灯油、軽油
	電気・情報通信機械工業	0.274	2.1	LED器具(除. 自動車用)、標準変圧器
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.172	0.7	普通鋼H形鋼、普通鋼小形棒鋼
	その他工業	0.034	0.7	医療・衛生用ゴム製品、マーキングペン
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.012	1.1	段ボール原紙
	その他の上昇した品目			マシニングセンタ【生産用機械工業】、 研削盤【生産用機械工業】
低下	生産用機械工業	▲ 0.931	▲ 9.2	装輪式トラクタ、 ショベル系掘削機械
	化学工業	▲ 0.396	▲ 2.9	ビスフェノールA、フルオロカーボン
	食料品工業	▲ 0.387	▲ 6.9	チョコレート
	汎用・業務用機械工業	▲ 0.283	▲ 3.2	汎用内燃機関、環境計測機器
	プラスチック製品工業	▲ 0.096	▲ 2.5	プラスチック製フィルム・シート、 プラスチック製継手
	窯業・土石製品工業	▲ 0.056	▲ 7.3	研削砥石、せっこうボード
	金属製品工業	▲ 0.047	▲ 0.5	ワイヤロープ、産業用アルミニウム製品
	輸送機械工業	▲ 0.046	▲ 6.0	電動アシスト自転車
	その他の低下した品目			アルミニウムはく【鉄鋼・非鉄金属工業】、 銅半製品【鉄鋼・非鉄金属工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

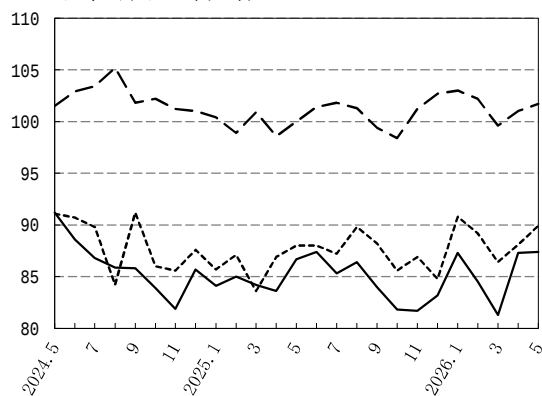
3 業種分類別の推移



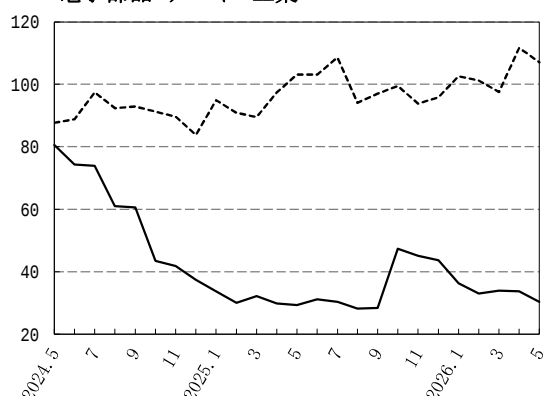
汎用・業務用機械工業



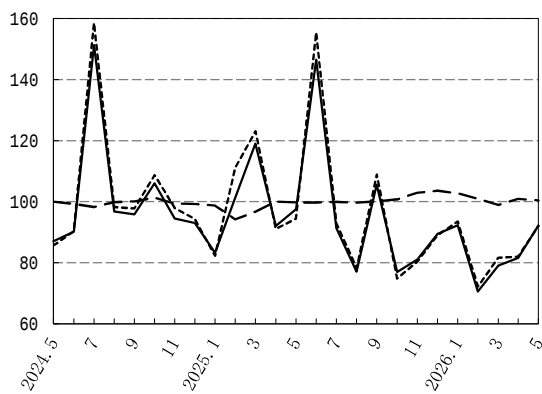
鉄鋼・非鉄金属工業



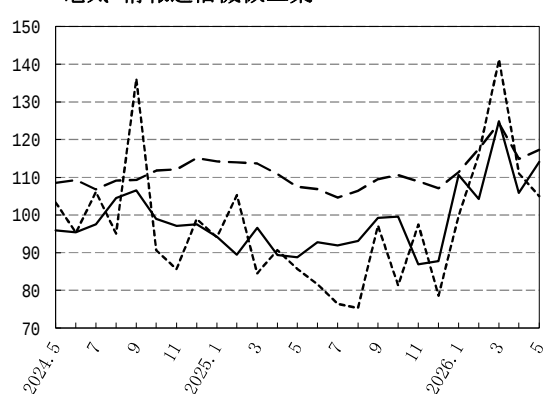
電子部品・デバイス工業



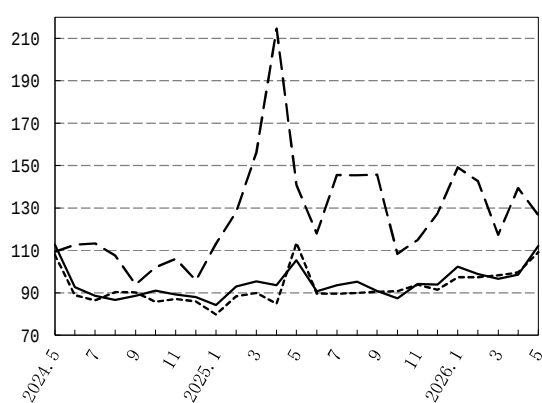
金属製品工業



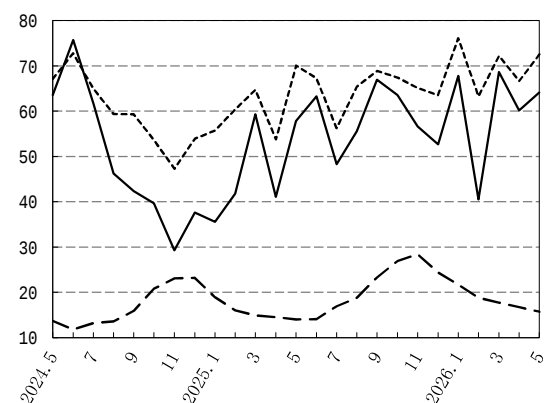
電気・情報通信機械工業

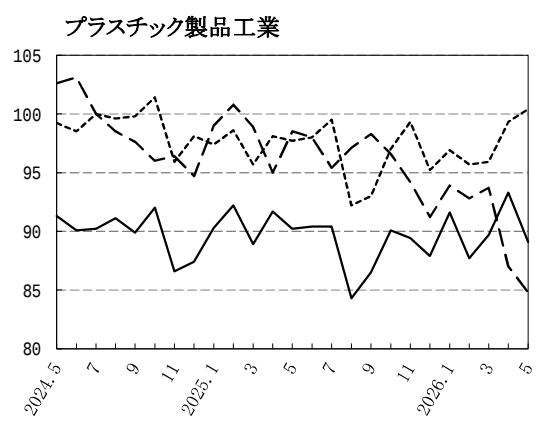
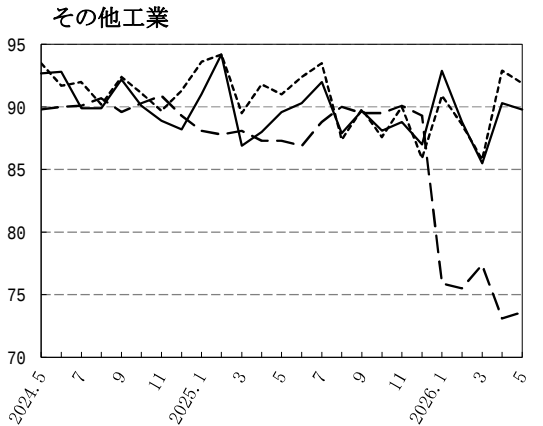
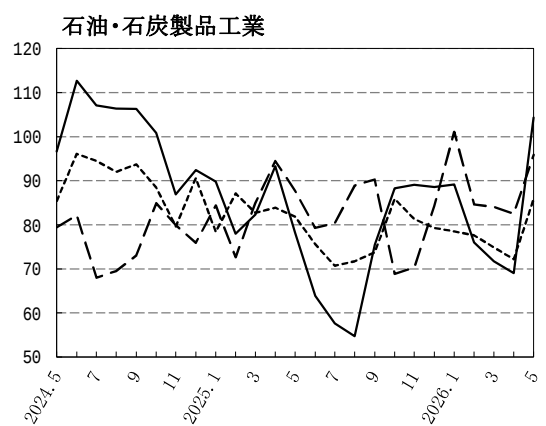
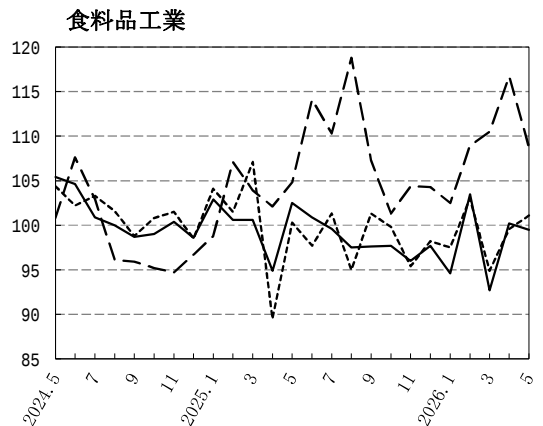
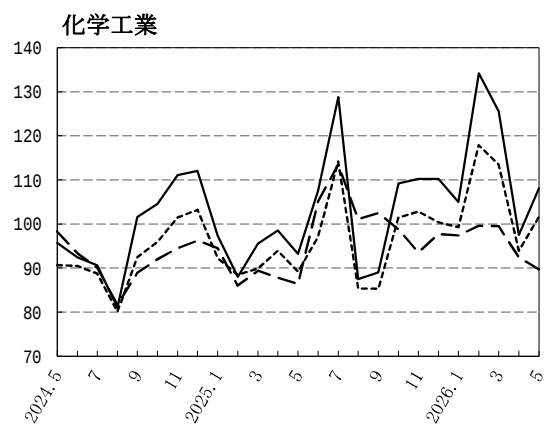
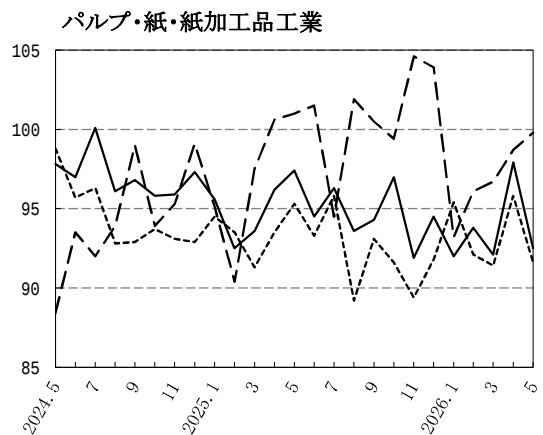
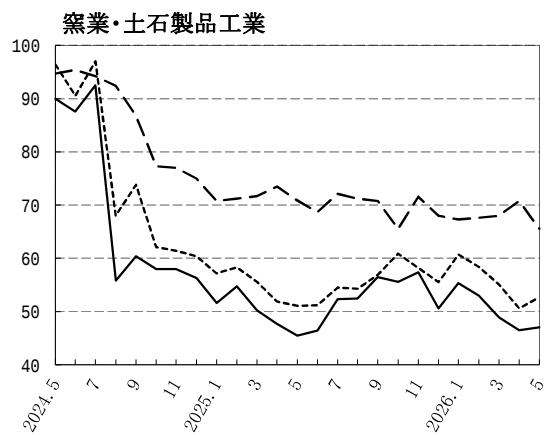


生産用機械工業



輸送機械工業





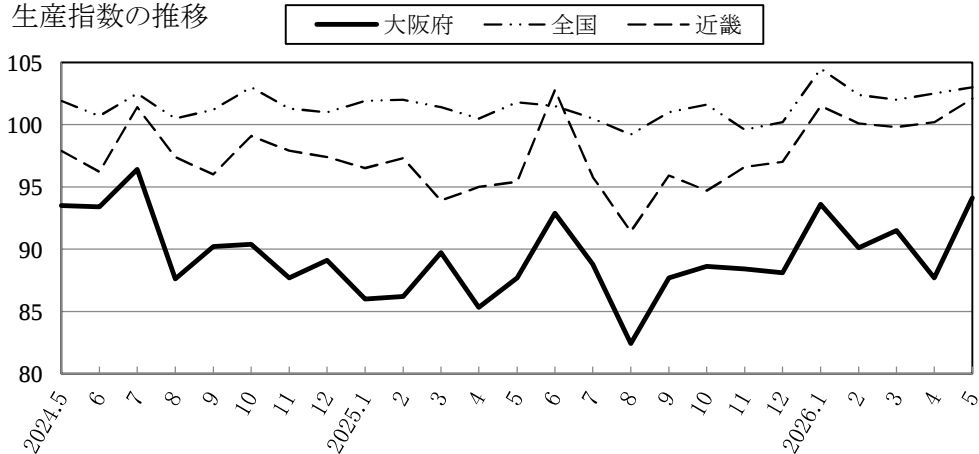
4 全国・近畿の状況(速報)

2020年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	94.1	7.3	103.0	0.5	102.1	1.9
出荷	94.7	6.0	101.6	0.6	99.5	0.0
在庫	95.9	▲ 2.3	95.4	▲ 0.6	98.0	▲ 0.6

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2020年(令和2年)です。

2020年(令和2年)基準の指数値は、2024年1月速報(2024年3月29日公表)から公表しています。

2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」……負数であることを示す。

3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

寄与度については、計算の過程で季節調整等の要素による誤差が発生するため、寄与度の合計値は製造工業全体の増減値と一致しない場合があります。

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、

2024年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。

2025年6月速報(2025年8月29日公表)から補正後の指数値を用いています。

年間補正は毎年実施しますので、2025年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。

大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <https://www.pref.osaka.lg.jp/0040090/toukei/iip/index.html>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。

大阪府総務部統計課 分析・利活用促進グループ 工業指数担当 TEL: 06(6210)9195(直通)